

早月中学校区保護者を中心とする皆様からの提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H29夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①街灯設置	栗山地内の通学路で夜間暗い箇所があり、不審者等が出ないか心配である。街灯を設置していただきたい。	市では、交通安全上必要な箇所に街灯を設置することとしており、市内ではおおむね設置済みであると認識しています。また、それ以外の箇所については、街灯設置に対する町内会等への補助制度がありますので、地元町内会と相談願います。いずれにしても、まずは現地を確認させていただきたいと思います。
②土曜授業①	土曜授業について、アンケート結果によると肯定的な意見ばかりではないが、市としてはその結果についてどのように考えているか。	アンケートは市内小・中学校の児童・生徒とその保護者を対象に行いましたが、その保護者からは賛成の声を多く聞いており、悪い評価は少ないことから今後も実施していきたいと考えています。また、アンケート結果からはゲームをする時間が減り、落ち着いて学習できる割合が増えていることが読み取れます。土曜授業には、平日の時限数を減らすことによる授業に対する集中力の維持という目的もあります。
③土曜授業②	土曜授業の実施日は市外のスポーツイベントに参加できない。もしくは、義務教育を休ませて参加させることになっているが市の見解は。	原則、授業を優先いただきたいと考えています。また、県主催の大会等に参加される場合は公欠扱いすることとしており、改めて学校に周知します。また、授業に出られなかった児童・生徒に対するアフターケアも行いたいと考えているのでご理解願います。
④土曜学習	土曜授業より、意欲のある児童が任意で参加できる土曜学習のほうが教員の負担が減るとともに効果があるのでは。	他自治体で行っている土曜学習の事例を視察しましたが、参加者が少ないです。また、全国では、25%程度が土曜授業を行っていると聞いています。土曜授業の無い日に土曜学習を実施できれば良いのではないかと考えています。
⑤教員数	東加積小学校の教員が減らないようにしてほしい。	教員は、その学校の児童・生徒数等により法律で決められた人員配分が行われています。東加積小学校周辺は景観が良く、自然豊かな環境であり、住宅地が増えることによる児童数の増加を期待しており、住宅地の進出については市として応援します。
⑥横断歩道	上大浦の児童が小学校へ通学する際、途中の県道に横断歩道がない箇所がある。同路線の付近にある横断歩道の付け替えを行えば設置可能と聞いたが。	ご提言の箇所の横断歩道設置については、今年1月に地元町内会からも要望を受けており、警察に対し市から要望をしたところですが、改めて要望をします。
⑦科学の祭典	富山市で開催されているような「科学の祭典」を滑川市でも開催してはどうか。	市でも企業やNPO法人、大学等と連携した授業の実施を検討します。
⑧音楽	ユメセン(トップアスリートを招いた実技指導)だけでなく、音楽にも力を入れてほしい。	豊かな心を育むため、講師を招いた音楽教室の開催のほか、学校のクラス単位でのワークショップやアーティストとの交流、ミニコンサートの視聴などを行っているほか、国の制度を活用し、国際コンクール出場レベルの方を招いてのコンサート等を開催しています。

早月中学校区保護者を中心とする皆様からの提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H29夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑨野球場整備	市営野球場は、大会の開催時等に駐車場の絶対数が不足しており、駐車可能台数を増やしてほしい。また、老朽化の激しいトイレの改修を行ってほしい。 また、野球場に隣接して遊具広場があり、ファウルボールが飛来するおそれがあり危険。対策をしてほしい。	駐車場の不足は認識しており、園路の隅切り等による駐車台数の増加を検討しています。また、トイレの老朽化についても承知しており、対応したいと考えています。 遊具広場のファウルボール対策については、なるべく早く対応します。
⑩小学校駐車場	市内各小学校の駐車場確保は共通の課題である。特に西部小学校が優先順位が高いと思われ、他の小学校についても計画的に対策を講じてほしい。	ご提言のとおりであり、優先順位を決め、計画的に進めます。
⑪大ホール	市民会館大ホールは設備が貧弱である。もっと文化面にもお金を掛けてほしい。併せて、人を呼ぶためのPRを。	新たな文化会館は、市民を中心とした皆さんに喜ばれる時期に、喜ばれるものをご用意したいと考えています。中程度の規模までのものは市内施設で、それ以上規模の大きいものは新川文化ホールで開催するという考えで、現在積み立てている基金が10億円に達したら検討したいと考えています。
⑫スクールバス	山間部の家庭は、特に冬場の学校の帰り道が暗くて危険である。冬場だけでもスクールバスを運行できないか。	通学は、なるべく徒歩や自転車で行い、体力をつけていただきたいと考えています。また、保護者で運営し、市がバックアップする方法もあると考えますが、すぐには難しいと思われます。 8月に姉妹都市のシャンバーグへ訪問するので、当地の状況も勉強してきます。